

講演会

「環境共生建築の日本とアメリカの比較」

日時: 9月29日(金) 15:00~16:30
場所: 島根大学総合理工3号館2F多目的ホール
講師: 石黒隆敏(PES建築環境設計)

＜主催＞日本建築学会中国支部島根支所
参加費: 無料, 参加方法: 当日先着40名程度
問合せ: 中国支部島根支所(島根大学総合理工学部内)黒谷増雄
TEL: 0852-32-6509, FAX: 32-6123, E-mail: kurotani@rko.shimane-u.ac.jp

建築物は、その巨大さゆえに、エネルギーの塊ともいえる鉄やセメントなどの資源を大量に使用する。さらに、竣工後も居住環境を維持するために、空調、照明、給湯などでエネルギーを大量消費している。その上、解体・除去される段階で、大量の廃棄物を生み出している。

このように、建築物はそのライフサイクルの全てのステージで、地球環境に大きな負荷をかけている。

温暖化を筆頭にさまざまな地球環境問題が顕在化している今、特に建築には、短期的な経済性に替わるものづくりの尺度『環境と人へのやさしさ、さらに経済性と社会性をも統合化した尺度』が求められている。

この度の講演会では、アメリカですでに実施されている『地球環境により建物（グリーンビルディング）』を建設するためのガイドラインとランク付けについて、多くの事例をまじえて紹介する。さらに、『グリーン開発（グリーンディベロップメント）』について、その精神と手法を紹介する。

講師紹介
略歴: 名古屋工業大学大学院修士課程修了(1967年)
シスカ・ヘネシーコンサルティングエンジニア(ニューヨーク) (1968~1970年)
PES建築環境設計を設立(1972年~)
コンサルティング会社PES INTERNATIONAL, Incをニューヨークに設立(1992年~)
業務: 建築設備設計及び環境を取り巻くコンサルティング業務
資格: 一級建築士、建築設備士、建築設備検査資格者など
日本建築家協会会員/日本設備設計家協会会員/愛知県設備設計家協会会員/全米グリーンビルディング協会会員

最近の主な社会活動
2000年4月: 2000年地球の日フェスティバル(アースデイ30周年) 開催(名古屋)
1999年9月: 「グリーンディベロップメント」監訳、出版(丸善)
1999年6月: 第3回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施) (東京/名古屋/大阪)
1998年5月: 第2回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施) (東京/名古屋/福岡)
1998年3月: 日本グリーンビルディング協会設立
1997年5月: 第1回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施) (名古屋/大阪/広島)

お願い: 自家用車でのご来場は、できるだけご遠慮下さい。


 Nagoya University

理工科学総合研究センター・シンポジウム
環境問題・エネルギーとリサイクル



1998年12月18日(金)
名古屋大学シンポジオン

名古屋大学理工科学総合研究センター
Center for Integrated Research in Science and Engineering

地球環境問題とエネルギーについて 橋崎貞行(エネルギー問題評論家、元CCUJ技術開発部長)	1
ダイオキシン問題とこれからの廃棄物処理 藤吉秀昭((財)日本環境衛生センター次長)	27
環境共生建築の歴史と現況 石黒隆敏(株式会社PES代表取締役)	39
冷暖房廃熱を利用した 年間サイクルエネルギーシステム 奥宮正哉(理工科学総合研究センター助教授)	67
エネルギー・環境問題と衝撃波 追藤琢磨(理工科学総合研究センター助教授)	95